

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	消防水利施設整備事業			事業番号	18-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	消防本部	和田健一郎	警防救急課	三橋克彦	

計 画 (Plan)

総合計画体系	安心力	まちづくり目標	2	地域で助け合う安全で安心なまち	
		基本政策	5	暮らしの安心がひろがるまちづくり	
		施策展開の方向	8	暮らしの安全を守るまちをつくる	
		施策	18	迅速で適切な消防・救急体制の充実	
予算事業名	消防水利施設整備事業				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	義務づけ規定がある	
事業開始年度	開始年度	平成30年度以前	～	終了年度	
関連法令等	消防法第20条・消防水利の基準				
国・県の計画等	国道246号バイパス・県道603号線整備事業に伴う防火水槽の補償		計画期間		
関連個別計画	消防水利施設整備計画		計画期間		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	今後の防火対象物等の情勢を注視しながら、消防水利の脆弱地域に消火栓又は耐震性貯水槽を整備します。				
目的 (何をどうしたいのか)	消防水利施設整備計画に基づき、消防水利の脆弱地域に消火栓及び耐震性貯水槽を整備します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	住民の安心・安全の確保と被害の軽減を図ります。				
事業内容 (手段、手法など)	・市内の消防水利脆弱地域に消火栓を計画的に整備します。				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	消火栓整備	1基整備	1基整備	1基整備	
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
	消防水利施設整備計画に基づく消防水利整備箇所数	1,032カ所 (平成29年度)	平成30年度 1,033カ所 (消火栓1基)	令和元年度 1,034カ所 (消火栓1基)	令和2年度 1,035カ所 (消火栓1基)



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	消防水利整備計画に基づき、消火栓1基を整備し消防水利脆弱地域の解消を図る。					
実施方法 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施		<input checked="" type="radio"/> 左記以外			
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	神奈川県企業庁水道局厚木営業所		
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		補助先	神奈川県市町村地域防災力強化事業費補助金		
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容			
実施結果	項目		年度			
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	消火栓整備		1基整備	1基整備		
実施した取組の内容	下谷670-2番地付近に、消火栓1基を整備					
目標の達成状況	【指標名】		年度			
	【現状値】		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
消防水利施設整備計画に基づく消防水利整備箇所数		1,032カ所 (平成29年度)	1,033カ所 (消火栓1基整備)	1,034カ所 (消火栓1基整備)		

コスト	年度		平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績				
	事業費合計 (a)		1,526		千円	1,381		千円	0		千円	0		千円	
	内訳	国県支出金 ①		1,097		千円	690		千円	0		千円	0		千円
		地方債 ②		0		千円	0		千円	0		千円	0		千円
		その他特財 ③		0		千円	0		千円	0		千円	0		千円
		一般財源 (a)-①-②-③		429		千円	691		千円	0		千円	0		千円
	国県支出金の内容		神奈川県市町村地域防災力強化事業費補助金:補助率1/2												
	その他特財の内容	受益者負担		<input type="radio"/> 有		<input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期							
		その他													
	人件費	正規職員		0.04	人	340	千円	0.04	人	348	千円	0	人	0	千円
		その他の職員		0	人	0	千円		人	0	千円	0	人	0	千円
		人件費合計 (b)		0.04	人	340	千円	0.04	人	348	千円	0	人	0	千円
	トータルコスト (a)+(b)		1,866		千円	1,729		千円	0		千円	0		千円	
	単位当たりコスト	対象数	定義	市民		単位	市民		単位			単位			
			対象数	102416		人	102,171		人						
総事業費 / 対象数		18		円	17		円								

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	企業庁水道局厚木営業所との連携により、下谷地内に消火栓を1基設置した。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市事業内容等	伊勢原市 消火栓1基 充足率90.4%
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	災害に強い安心・安全なまちづくりのため、消防水利脆弱地域への整備が進んでいる。今後も、市民の生命・身体・財産を火災から保護するために、着実な整備が必要である。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	適正な地域に設置が進んでおり、消防水利脆弱地域が減少し、充足率の向上に繋がっている。



取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	消防水利整備計画に基づき、消防水利の脆弱地域へ主に消火栓の整備を図ってきた。また、消火栓の整備が不可能な地域には、防火水槽の設置を検討しているが、用地の確保が課題であり、より有効に消防水利脆弱地域の解消を図るため、消防水利整備計画を改正中である。
令和2年度の取組方針		消防水利整備計画に基づき、消火栓1基を整備し消防水利脆弱地域の解消を図る。		
所管部長による総評		消防水利整備計画に基づき消防水利を整備している中で、脆弱地域の解消が進んでいるが、課題となっている消火栓を整備できない地域に対する対応について、消防水利整備計画の見直しについて精査する必要がある。		